

ごあいさつ

「2025年問題」も間近に迫ってまいりました。京都府北部地域においても地域医療の中核である医療職とりわけ看護職の育成が喫緊かつ焦眉の課題となっています。

この数年間、「新型コロナウイルス感染症」にかかる事象に心を痛め、平穏だった「日常」が忙殺される中でも、崇高な志を抱き、看護職に就くことを切望し、看護学の基礎・応用的な学習にも果敢に取り組み、看護学の専門性を高めていること、とりわけ、京都府北部地域の地域包括ケアシステムの充実・発展に貢献したいと自己研さんに努めていることを大変うれしく思っています。

皆さんは、「クリミアの天使」としてフローレンス・ナイチンゲールをよく知っていると思います。1820年生まれですから2020年は「生誕200周年」にあたりましたね。敵味方の銃弾が飛び交う「クリミア戦争」において、彼女は負傷兵に献身的に看護を行った崇高な精神は『看護覚え書』にも反映されているところです。

しかし、彼女の『物語』はここからが「真骨頂」です。彼女は統計学の先駆者でもあります。彼女は、各病院の入院患者の死亡率の推移を統計学を駆使し、いわゆる「見える化」を進め、科学的根拠(エビデンス)によって解明しました。病室の設備改善を説き、やがてはイギリス政府をも動かし、近代看護学の発展に大きく貢献したのです。ロンドンのセント・トーマス病院は看護職・医療職にとっての「聖地」でもあります。

皆さんが高等学校まで履修してきた「数学」などは「科学的根拠(エビデンス)」を培う素地ともなっています。「豊かな感性」とともにこれを忘れず、日々の研さんに一層努めてください。

行永分校はおもに小学生・中学生の学齢に該当する児童・生徒、とりわけ多くの医療的ケア児が修学し、学びを日々深めています。わずかの時間ではありますが、本校での実習を通じて、自らの成長の一助としていただければうれしく思います。

皆さんにとって、念願の看護職への「夢」を果たし、卒業後に御活躍することを切に願い、あいさつとさせていただきます。

京都府立舞鶴支援学校
行永分校
副校長 堀江 嘉明